

# 統合マネジメントシステム

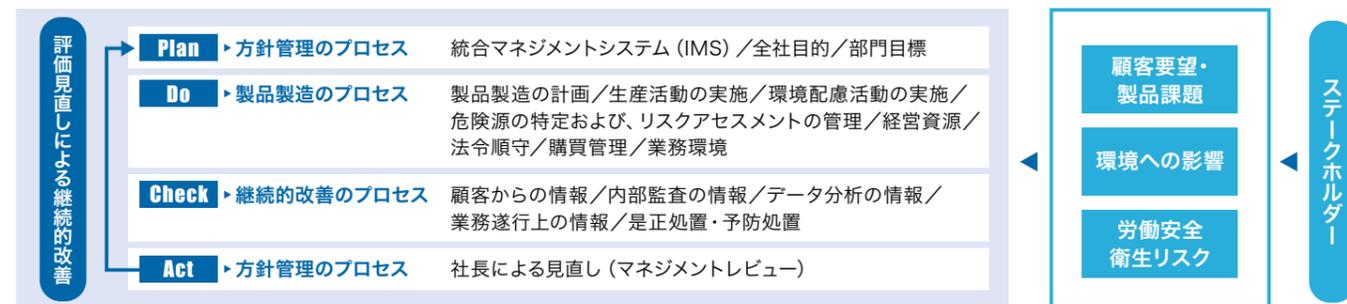


品質・環境・労働安全衛生管理を統合マネジメントシステム(IMS)として統合し、効率的に運用しています。PAMCO-2021における目標達成のツールとして、経営方針をIMS方針と位置づけ、このシステムを最大限に活用していきます。

## 統合マネジメントシステム(IMS)によるリスクマネジメント

環境との調和に配慮したフェロニッケルおよびスラグ製品の生産を通じ、地域社会への安心と、お客様への信頼・満足を提供し、当社で働く全ての人にとって安全で快適な職場を実現するため、統合マネジメントシステムを活用し、事業のリスク低減と全てのステークホルダーの信頼に向け全社一丸となって取り組んでいます。

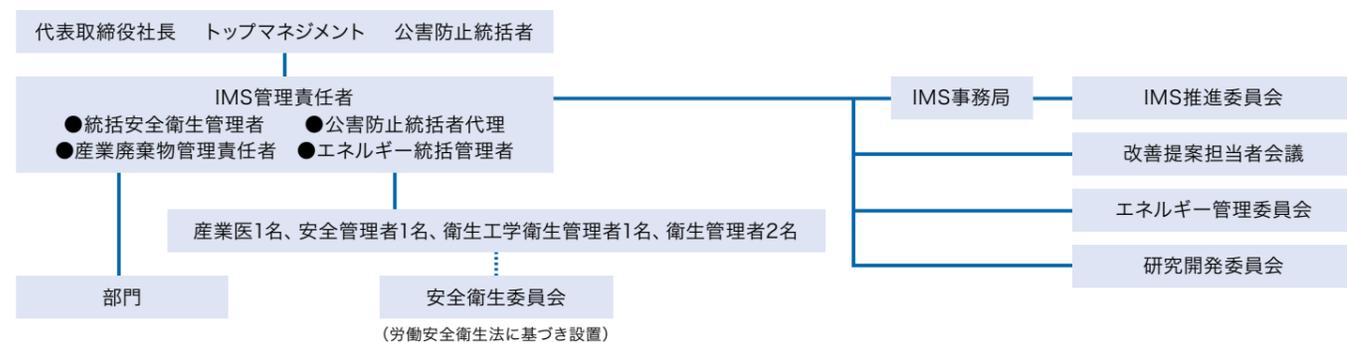
### ■統合マネジメントシステム(IMS)の主な活動の流れ



## IMS体制

統合マネジメントシステムの管理体制は以下に示す通りです。代表取締役社長をトップマネジメントとし、IMS推進委員会、エネルギー管理委員会、安全衛生委員会等を定期的に開催し、課題や進捗について協議するとともに重要事項について審議・報告しています。

### ■IMS体制図



## ISO認証登録

当社は、ISO9001、ISO14001、およびOHSAS18001を認証登録しています。2020年10月に統合審査を受審し、マネジメントシステムに重大な不備はなく、有効に実行されていることが確認され、ISO9001、ISO14001の更新、OHSAS18001からISO45001への移行が完了しました。

審査の結果、軽微な不適合が1件、改善の機会が63件ありましたが、事務局および各部署が処置計画を立て、是正・改善に取り組んでいます。また、良い点として評価された事項は51件ありました。

2019年度にOHSAS18001からISO45001への移行準備を進め、統合マネジメントシステムマニュアルの全面的な見直しや

移行に向けた全従業員向けの教育を実施してきました。また、労働災害・事故の削減を目標に小集団活動による災害・事故防止の取り組みを実施するとともに、働き方改革として、メンタルヘルス、労働時間の管理など、健康管理面で人事部と連携した取り組みを強化してきました。

### ■認証登録情報

認証規格	登録範囲	登録番号	有効期限	初回登録
ISO9001:2015	八戸本社 (製造所)	0314	2024年 2月15日	1998年 4月9日
ISO14001:2015		E1998		2009年 3月19日
ISO45001:2018	東京本店	H063		2012年 2月16日



ISO9001 登録証    ISO14001 登録証    ISO45001 登録証

## 環境会計および安全会計

2020年度の環境会計および安全会計の集計結果を以下に示します。

環境会計については全体で約4.7億円の費用を投じています。公害防止コストと資源循環コスト、環境損傷対応コストが多くを占めています。

安全会計については全体で約7千万円の費用を投じています。主に、安全対策工事等の設備投資や安全衛生保護具に関する費用となっています。

### ■環境会計の集計結果(環境保全コスト)

分類	主な内容	費用(万円)
(1) 事業エリア内コスト	公害防止コスト	17,372
	資源循環コスト	11,983
(2) 管理活動コスト	ISO審査費	3,616
	構内緑化・管理費	
	環境・社会報告書作成費	
	各種モニタリング装置維持管理費	
(3) 社会活動コスト	近隣一般道路清掃費	22
(4) 環境損傷対応コスト	汚染負荷量賦課金 <sup>(※1)</sup>	13,858
合計		46,850

※1: ばい煙発生装置を1987年4月1日の段階で設置しており、硫酸酸化物を排出し、排出ガス量が一定値以上ある事業所が納付するもの。当社は制度開始以降、義務を全うしています。

### ■安全会計の集計結果

分類	金額(万円)
(1) 設備投資(安全対策工事等)	3,105
(2) 安全衛生・防災教育費	208
(3) 法定検査費(ボイラ・クレーン・消防関係)	552
(4) 健康診断等費	990
(5) 安全衛生保護具費	2,412
合計	7,267

## 法規制順守の取り組み

当社は、法規制等の順守を事業活動の最も重要な項目の1つに位置づけ、順守に関する手順を定めるとともに、定期的に現場や書類などの監視・点検を行っています。2020年度は法規制や基準超過の違反はありませんでした。

また、2020年度の労働災害は2件発生しました。1件目は凝固スラグを除去する際の火傷災害であり、再発防止策として樋の開き部分をかさ上げするとともに、スラグが溢れ出た際の対応について再確認し、周知・教育を行いました。2件目はスラグピットの水位確認中に滑落し、高温水と接触する事故であり、照明の点灯箇所を追加するとともに点検デッキを設置する対策を講じました。

労働災害防止のために、マネジメントシステムの基本である「計画(Plan)-実施(Do)-評価(Check)-改善(Act)」による継続的改善を徹底し、職場での自主的な安全衛生管理をより一層推進するとともに、当社・協力会社ともに一丸となって無災害を目指します。